

認定こども園ともいき 令和4年度自己評価結果公表シート

1 本園の教育目標

1 心豊かな子ども
2 明るい子ども
3 進んで行動する子ども

2 本年度、重点的に取り組む項目

<p>認定こども園ともいきの求める職員の人物像は、次の3つである。</p> <p>(1) 和顔愛語 すてきな笑顔と気持ちのいい挨拶をする人</p> <p>(2) 同事協力 職場の人と息を合わせて仕事をする人</p> <p>(3) 智慧希望 広い視野で見、考え、簡潔に表現できる人</p> <p>これらを実現するために、まずは人間性の基礎となる笑顔と挨拶を徹底できるよう組織的に取り組んでいくことを重点事項とする。</p>
--

3 評価項目の達成及び取り組み状況

認定こども園教育保育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・方針に従い指導計画を作成する。	園児が主体的に考えて行動できるよう教育・保育を進めた。今後も集団の活動と個の欲求とのバランスがとれた計画を考えていく。 外部組織との連携は課題。
教育の質を高めるため、研修を充実させる。	ネットワーク環境や視聴機器の有効活用により、より多くの職員が研修を受けられるようになった。 特に、園児の安全に関する研修は全職員が受講した。他園で起こった事故についても話し合い、対策することが出来た。 園外での研修もできる限り参加した。
園児の良さを認め評価する	多様な発達度合の園児がいる中で、それぞれに配慮した体制を組み、園児が無理なく成長できる関わりを持った。個と全体の関係性を深めていけるとなお良い。 園児の姿を多角的に捉える取り組みは継続して行っている。 また芸術の視点を学ぶ研修により、新たな視点も得られた。
園の情報を発信する	情報発信はスマホアプリをメインで利用し、定着してきている。 使いやすさや見やすさは向上する必要あり。 また、紙媒体と併用してそれぞれの長所を生かした発信をしていく。
園環境を整える	保育室の水道の温水化を拡大、手洗いの取り組みを強化。 床、外壁、屋根等の補修を行う。 老朽化した玩具の更新をして遊びやすくなった。 園庭の補修改良は継続している。 職員からも今後の改善案が出ているので検討していく。

4 認定こども園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価

概ね目標等に向け意識して取り組むことが出来た。笑顔と挨拶は日ごろから意識できている。

課題として、職員の質向上のための研修体制の整備、わかりやすい発信。また、安全性の向上は引き続き取り組んでいく。

コロナ禍に関して、必要な対策や規制をとりつつも教育保育をその機能が最大限発揮できるように行うことができた。今後は制限が緩和されていくので、安全を確保しながら園外の方との関わりや連携も計画していく。

5 今後取り組むべき課題

教育保育施設としての専門的な技術の向上	内部指導體制、利用者への共感や助言など、専門的な施設としての技術の向上。
わかりやすい発信	利用者が必要な情報をわかりやすく伝える方法を探る。保育の様子や子育てに役立つ情報を、理解しやすい形で。
安全な運営方法	事故や虐待など、園児に危険が及ばない仕組みや体制を見直していく。

6 認定こども園関係者の評価

評価した点として……

こどもの育ちを共有する研修などの取り組み、土や植物の自然環境に触れる機会のある保育、温水器設置など過ごしやすい環境づくり。全体的に良好な評価である。

検討事項として……

職員の意見を取り入れた計画作成と環境づくり、外部の研修機会確保、園外の方と触れ合う機会。

また、昨今問題になっているバス等での園児の安全確保や、虐待防止への確実な仕組みづくりが期待される。